



利用者が心肺蘇生を望んでいないことが分かった際の対応を確認するスタッフら＝中津川市阿木のシクラメンで

心肺蘇生望まない「DNAR」想定 救急現場の適切対応訓練

中津川市消防本部は19日夜、119番で駆けつけた現場の患者や家族が心肺蘇生を望まない「DNAR」を想定し、中津川市阿木の特別養護老人ホーム「シクラメン」で合同訓練を行った。施設を運営する社会福祉法人敬愛会のスタッフが、119番をせずにみとめることが適切な人に対し、救急隊員を呼んでしまった場合のやりとりを学んだ。

(小佐野慧太)

中津川市消防と特養ホーム

DNARは「Do Not Attempt Resuscitation」(蘇生を試みない)の頭文字。県内のガイドラインでは、末期がんなどの患者や家族が心停止時の心肺蘇生を望まない場合、かかりつけ医に所定の「指示書」を作成してもらった。周囲が急変に慌てて119番した際、指示書を救急隊員に示し、かかりつけ医に確認が取れば心肺蘇生を中止させることができる。

が119番してしまうケースもあり、市消防本部は啓発を目的に合同訓練を企画した。東濃5市の消防本部では初めてという。

訓練では市消防本部の救急救命士の高橋健太さん(28)がスタッフ約30人に注意点を説明。▽心停止以外の容体の変化▽事件・事故や自殺未遂による心停止▽心肺蘇生を希望する家族がいる場合―は例外として心肺蘇生や119番を求めた。119番後に指示書が見つかったケースを想定し、スタッフたちが隊員や医師とやりとりし、心肺蘇生を中止してもらったまでの手順を確認した。

介護スタッフの前田雅崇さん(42)は「指示書を見るのも初めてなほど知識は不十分だった。適切な対応ができるように研さんを積みたい」と話した。

市消防本部によると、DNARのケースで救急隊が出動した事例は2022～24年に市内で計10件あった。



放逸1

東濃洋画家連盟 熊崎公仁
(土岐市妻木町)

多治見支局

〒507-0037
多治見市音羽町4-39
0572(22)3121
Fax(23)5331

恵那通信局

0573(26)2525
Fax(26)5209

中津川通信局

0573(66)1246